

意お笑け

袁を笑け

二皇子と根日女物語

第1回 7月13日(木)
二皇子の父・市辺忍齒王と雄略天皇の角逐
(狩り場の悲劇)

第2回 8月10日(木)
二皇子の逃亡と放浪 (なぜ丹後?なぜ播磨?)

第3回 9月14日(木)
美囊の郡志深の里 (加吉川舟運の要衝の地)

第4回 10月12日(木)
山部連少楯というひと (実は天皇家設立の功臣の子孫?)

第5回 11月9日(木)
「淡海は水淳る国」 (二皇子の名乗り)

第6回 12月14日(木)
国造許麻の女、根日女命 (播磨国の渡来人事情)

第7回 1月11日(木)
「朝夕に日の隠ろわぬ地」 (鴨の国讃歌)

播磨国風土記が

伝える多くの説話・伝承のなかでも、もっとも

ドラマ性の高いもの、それが意美、袁美二皇子の物語です。歴代の天皇が二人までも身分を隠して、即位前の少年青年時代を「畿外の地」に潜

んでいたこと、ふとした偶然で、それが途絶えようとしていた王権の危機を救います。後の継体天皇の

登場にもまさるドラマです。そして、見出された二皇子

と根日女をめぐる哀しい物語は、古事記・日本書紀の伝

えない播磨国の一面を鮮やかに描き出しています。記述の

背後に隠されているものを推測しながら、二皇子と根日

女の物語をたどりましょう。

各回

13:30~15:30

場所 アスティアかさい3階多目的ホール
(加西市北条町北条28-1)

参加無料

申込不要



「風土記上」(1,469円)
角川ソフィア文庫

全講座で左記のテキストを使用します
初回講座(7月13日木)のみ、会場受付で販売します。



講師 元国際日本文化研究センター准教授

光田 和伸 氏

講師プロフィール

国文学者。愛媛県松山市生まれ。元国際日本文化研究センター准教授。専門は比較文化・比較文学。主に和歌、連歌、俳諧を研究。著書に『恋の隠し方―兼好と「徒然草」一』、『芭蕉めざめる』(ともに青草書房)。